

事案名	水戸市の事案（茨城県 8 - 1）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧軍毒ガス等の全国調査結果報告（案）」〔 1 〕 ・証言〔 2 〕 ・証言〔 3 〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査の再調査について（報告）」平成 15 年 10 月 14 日〔 4 〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「『国内における毒ガス弾等に関する調査』について（報告）」〔 A 1 〕 ・『平成 16 年度国内における旧軍毒ガス弾等に係る情報収集及び取りまとめ業務報告書』〔 A 2 〕 ・「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会（第 8 回）」資料 8〔 A 3 〕
平成 15 年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>茨城県水戸市において、終戦当時、東部 37 部隊が練兵場内の塹壕に毒ガス弾等を埋めたとの匿名の葉書がある。また、同部隊が練兵場内で教育用イペリット等少量を焼却したという情報がある。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 20 年 8 月に東部 37 部隊が練兵場で教育用イペリット等少量を焼却したとしている〔 1 〕。 ・旧軍関係者（元東部 37 部隊員）からの匿名の葉書には、「終戦時、練兵場内の塹壕に毒ガス（催涙ガスらしきもの）をうめたことがあります」と記載されている〔 2 〕。 ・旧軍関係者（元兵士）の証言として、「東部 37 部隊（水戸歩兵第 2 連隊）では、練兵場内にあったガス室で毒ガスの訓練が行なわれていたが、使用していた毒ガスは催涙ガスのみで、イペリットなど危険性の高いものは使用していない」と記載されている〔 3 〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸軍練兵場跡地は、昭和 29 年に茨城県が公園を整備し、公園周辺は住宅地になっている〔 4 〕。
新たな情報	<p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年度のフォローアップ調査時に寄せられた、旧軍関係者（元東部 37 部隊員）からの匿名の葉書に記された「シベリア出兵碑」とは位置的に「尼港（にこう）事件殉難者記念碑」と合致している。なお、この碑は、昭和 21 年 6 月の時点では現在と同一の場所に存在している〔 A 1 〕〔 A 2 〕。

その他情報

- ・元東部37部隊員による、ガス室が存在したとされる証言情報に係る場所は、現在、住宅地に該当している〔A2〕。
- ・平成16年10月に環境省が実施した18検体の地下水調査の結果、毒ガス成分は検出されなかった〔A3〕。